

令和6年2月6日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 肥 後 孝 俊

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和6年1月22日(月)～23日(火)

2. 視察内容

- ①「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について(兵庫県淡路市)
- ②出生率2.95の奇跡の町における「子育て支援策」について(岡山県奈義町)

3. 視 察 先

- ①関西ハウス工業株式会社
 - ・①-1 事務所
 - ・①-2 家屋リノベーション現地「古淡」「松陰」
 - ・①-3 酒蔵リノベーション現地「本田酒店」
- ②兵庫県勝田郡奈義町役場

4. 調査経費

26,120 円

(経費内訳) 浜田市→兵庫県淡路市→岡山市泊→岡山県奈義町→浜田市

宿泊代	7,800 円
レンタカー代	8,525 円
有料道路代	3,838 円
ガソリン代	2,207 円
駐車場代	250 円
行政視察料(奈義町)	3,500 円

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



〔調査研究活動の概要〕

【酒蔵の利活用について「酒蔵リノベーション」】

■視察項目

- 空き家等廃屋を資源ととらえ、リノベーションすることで、賃貸物件や、観光資源として、再生をしている。その考え方について学ぶ。

〈関西ハウス工業の概要〉

- ・ 会社名 関西ハウス工業株式会社
- ・ 創業 昭和 27 年 5 月
- ・ 法人設立 昭和 37 年 4 月
- ・ 資本金 20,500,000 円
- ・ 事業所 兵庫県淡路島市生穂 1803 番地の 2
- ・ 事業内容
 - 民間企業の施設(事務所・店舗・工場など)設計施工
 - 民泊施設等のリノベーション
 - 各種建築物のメンテナンス
 - 個人住宅の(新築・リフォーム)設計施工
 - 宅地建物取引業(自社賃貸物件の管理運営)

1. 事務所での説明

●説明者

総務部 部長 奥村祐馬 様

建築部 部長 川西悦司 様

明石営業所 所長 建築部 部長 北邨亮介 様

●視察者

- ・ 浜田市における「酒蔵」の現状について説明→更地での買取
- ・ 浜田市においては、「酒蔵」の良さがわかっていない。
- ・ 壊すことは簡単であるが、元に戻すことはできない。

●事業所

- ・ 本田酒店は築 100 年以上であったが、梁などは活かし、基礎に改修を施した。
- ・ 「三桜」の写真を見るに、全然きれいな建物である。
- ・ この写真の「三桜」を壊すのはもったいない。
- ・ 昨今の SDGs からも酒蔵のリノベーションは考えられている。
- ・ また、流行りのカフェにもなりうる。
- ・ 淡路市では、阪神淡路大震災の被災で酒蔵のような建物が少ないからこそ残す動きがある。



2. 古民家リノベーションの紹介「古淡」「松陰」

関西ハウス工業株式会社の空き家のリノベーション技術の紹介として、次の2事例を示され、視察しました。

「古淡」※1日1組限定の貸切宿



「松陰」※総合ワーケーション 研修道場



3. 酒蔵リノベーションの紹介「本田酒店」

[工事の概要]

- ・歴史ある酒蔵の全面リノベーションの依頼があった。
- ・近年では、ほとんど使用されることが少なくなっている空間を復活させたいという施主様の要望に応えた。
- ・1階には、キッチンやリビング(和室)等の居住空間を新たに設けた。
- ・2階は、長年使われた酒造りの道具や、写真、資料などを飾るギャラリースペースとした。
- ・築年数 約100年
- ・規模 2階建て
- ・延床面積 295.00㎡

本田酒店様〔古民家再生〕

リフォーム前 (BEFORE)



リフォーム後 (AFTER)



【子育て支援策について「出生率 2.95 の奇跡の町」】

今回の視察は、当方を含め 5 市町による合同の視察となりました。なお、その内 1 団体は、オンラインであり、現地では 37 名でした。

説明者:情報企画課 副参事 小坂昌平 様

■調査項目

- ・奈義町役場 職員 83 人
- ・合計特殊出生率 2.95% 令和元年度
- ・少子化対策～町全体での子育て

1. 奈義町について

- ・昭和 30 年 2 月 3 村合併により「奈義町」が誕生
- ・平成 14 年 12 月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- ・面積 69.52k m²
- ・人口 5,751 人(2023. 3. 1 現在) ※2022. 4. 1 時点 5,725 人
- ・世帯 2,533 世帯(2023. 3. 1 現在)
- ・特色 自衛隊
 - ・日本原駐屯地
 - ・日本原演習場 14,66 k m²
(奈義町分 11.94 k m²)=行政区の約 2 割
- ・子育て関連施設
保育園 1 園・幼稚園 2 園 → 令和 6 年春 こども園 開園(予定)
小学校 1 校
中学校 1 校 → 令和 6 年春 建て替え完了(予定)
子育て支援施設 → 令和 2 年度 全面リノベーション
(チャイルドホーム)
令和 5 年 9 月～ 奈義保育園でおむつのサブスクを導入

2. 少子化対策の意義

- ・問題と課題
少子化対策は、子育て世代だけの問題ではない。
だからこそ、課題を住民と一緒に考える
「少子化対策は最大の高齢者福祉」
- ・平成 24 年 4 月 1 日 子育て応援宣言
- ・令和 5 年 6 月 13 日 こどもまんなか応援サポーター宣言
- ・有効な少子化対策は何か
子どもは 2 人以上欲しいけど
 - ・子育てや教育にお金がかかりすぎる。
→妊娠・出産、子育てまで切れ目のない経済的支援
 - ・高年齢で産むのが嫌
 - ・育児の心理的、肉体的に負担に耐えられない

- 出産、子育て等に係るメンタル的支援
 - 子育てにやさしい地域づくり、機運醸成
- ・奈義町は子育てしやすい環境？
 - 奈義町が抱える地域課題の解決(住む、働く)

3. 奈義町の子育て支援施策

① 経済的支援の主な例

- 在宅育児をする保護者に毎月 15,000 円の支援金
- 高校生への就学支援として年額 240,000 円の支援金
- 大学生に町独自の奨学育英金、卒業後に町への定住で全額返済免除
 - ・町の一般会計予算規模 約 45 億円のうち子育て支援単独事業約 2 億円(一般会計に占める割合 4~5%)

② メンタル的支援・機運醸成～産前産後ケア

- ・保健師による母子手帳交付時の面談
- ・きずなメールによる情報発信
- ・保健師による新生児全戸訪問
- ・母乳相談
- ・産後ヘルパー
- ・産前産後アプローチの更なる推進
 - 今後実施予定事業
 - 心理士による産前産後のカウンセリングの導入
 - 父親の子育て力アップ事業
 - 子育て適応包括支援尺度(CPRA)を活用した個別支援
- ・なぎチャイルドホーム
 - 常駐する「子育てアドバイザー」
 - 町民同士で支えあう子育てサポート制度
 - 町民ボランティア 1時間 300円
- ・奈義町子育て応援宣言を公表(H24. 4. 1)

③ 地域課題の解決

- ・しごとコンビニ事業
 - 空いた時間にちょっとだけ働きたい×繁忙期にちょっとだけ手伝ってほしい
 - 事業主体 一般社団法人しごとえん
- ・奈義しごとえん
- ・子どもの見守り「こもりん」
 - 大人が交代制で子どもを見守れる仕組み
- ・企業誘致 全 16 社立地 約 800 名が就労
- ・賃貸住宅の整備
 - 満室
 - 賃貸住宅不足を解消するため、町で「民間賃貸住宅の建設」を助成
 - 賃貸若者向け住宅の建設(オール電化や浴室乾燥など子育て層の声に対応した賃貸住宅)

- ・分譲地整備
 - 分譲率 100%
 - 不足の対応
 - 民間分譲地整備補助
 - エリア整備に向け PPP/PFI に着手

④ (番外)ナギフトカード

- ・機能 ナギフトポイント、ナギフト支援券、ナギフトマネー給付金
- ・スマホ連携
- ・ICチップ入り 電子カード(全町民所持)

4. 高い合計特殊出生率の鍵は

「安心感」

- ・住むところがあって安心
- ・働くことができ安心
- ・子育ての負担が軽くなって安心
- ・子育ての悩みや喜びが共有できて安心
- ・町のみんなが子育てを応援してくれて安心

「特殊出生率」

- ・出生人数の維持
 - 平成 14 年 54 人 1.83
 - 平成 30 年 54 人 2.40
 - 分母が違う。分母が減少。
 - 町速報値 令和 2 年 2.25 令和 3 年 2.68



視察の様子



浜田市他 3 団体が合同視察



庁舎前に於いて

(所感)

① 「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について（兵庫県淡路市）

淡路島の本田酒店で歴史ある酒蔵の全面リノベーションされた現場を、家主と施工業者と意見交換する中で、歴史ある酒造を活用したいと自費で全面改修し地域のために活用したいとの熱い想いを家主さんから聞かせていただき、地域のために何を残すべきなのか深く考えさせられました。阪神淡路大震災を経て、歴史ある建造物が崩れ落ち、また解体されていく中で、耐え抜いた建物を後世に残し、地域活動に使用して欲しいとの思いを真摯に受け止め既存建物の有効活用の手法として浜田市においても一考の余地あり。と感じる視察となりました。

酒造跡地を住居兼地域に開かれた施設とし、酒蔵としての歴史を当時の書物や備品等を保存しながら展示活用し、建物の構造部を新たに見せると共に新材材を使用しながらも当時の空間としての雰囲気を活かしつつ、普段の生活に配慮されたリノベーションの設計と提案力、それを具現化する施工技術に感服しました。

余談ではありますが、備忘録として書き記しておきます。

実際にリノベーションされた酒蔵の雰囲気は不思議な居心地の良さを不思議に思い、設計者に尋ねると、一つは間接照明による照らすところと暗所を絶妙に分けることで、同じ物でもより良く見せる。といった手法は、浜田市での建築物において不足していると感じました。酒蔵跡地の前に設計施工業者が手掛けた別荘を拝見した際にレベルの高さを痛感。というのも前職で携わってきた戸建住宅のリノベーションで、メーカーカタログに掲載されるレベルで、謂わば理想の家だったのです。中でも特筆すべきは、浴室自動湯張り機能を備え通常のシステムバスには選択肢の無い檜浴槽を収め、天井カセット式浴室暖房乾燥機もセット。浴室のバリアフリーで大事な床面の段差解消のみでなく、脱衣室と浴室の温度差をなくす温度のバリアフリー在来浴室とシステムバスの良いところ取りのハーフバスユニットを選択し防水性と止水性、メンテナンス性に配慮した設計で良い仕事をされていました。何故このような発想が出たのか尋ねると、大手ホテルや宿泊施設等の仕事を手掛けてきた実績から生まれたものと聞き、納得しました。想像するに浜田市内でもこの様な業者が手掛ける物件が建設される日が来るには、もっと魅力ある地域になる必要があります。働く・住む・学ぶ・遊ぶ・食べる。人口減少規模縮小の時代に何を残すべきか日々研鑽し、歩を進めていかなければならないと感じました。

② 岡山県奈義町 少子化対策 まち全体での子育て

合計特殊出生数 2.95 人のカラクリ:元々の人口が少ないまちで人口減少し同数の子どもが産まれれば、数値は飛躍します。

しかし、評価すべきことは人口減少し若い女性が減る中で、子どもの出生数が維持出来ていること。即ち、地域が若者世帯を受け入れ定住したい政策を打つ覚悟が問われていると感じました。

1. 子育て支援の強化:

- ・ 奈義町は、子ども園や小中学校、子育て支援施設チャイルドホームを設置し、子育て世帯のサポートを充実させています。
- ・ 特に注目すべきは、おむつのサブスクリプションサービスの導入や子育て応援宣言の発表など、新しい取り組みを実施している点です。

2. 地域社会との連携:

- ・ 町民主体での法人化や、しごとコンビニ事業を通じた職場の創出、高齢者と若者の交流促進など、コミュニティを活性化する多様な活動が行われています。
- ・ 子ども見守り「こもりん」プロジェクトなど、地域全体で子どもたちを支える体制を構築していることも評価できます。

3 経済的な支援とインフラ整備:

- ・ 企業誘致による雇用創出、賃貸住宅の整備、若者住宅の提供など、住民が生活しやすい環境を整えるための施策を実施しています。
- ・ ナギフトカードやナギフトマネーなど、地域通貨を活用した経済活動の促進も特筆すべき点です。

4 デジタル化の推進:

- ・ 電子マネーや行政ポイントシステムの導入、スマホとの連携による給付金の配布など、デジタル技術を活用した効率的なサービス提供が行われています。

5 人口問題への対応:

- ・ 合計特殊出生数が2.95人と、人口減少が進む中でも子どもの出生数を維持している点は、地域の未来に対する明るい兆しです。
- ・ 少子高齢化が進む日本において、奈義町のような小規模自治体がどのようにして子どもの出生数を維持し、地域を活性化させているのか、その取り組みは多くの自治体にとって参考になるでしょう。

これらの点を踏まえ、奈義町の取り組みは、小規模ながらも住民主体の地域活性化、子育て支援、経済的な自立支援、デジタル化の推進といった多面的なアプローチによって、地方創生の一つのモデルとして高く評価できる内容であり浜田市にとって若者支援事業の参考となる事例であるといえます。